

○企業版ふるさと納税事業に係る検証シート

交付金対象 事業の名称	文化財を資源とした交流エリア形成プロジェクト	
事業の概要	八幡山公園グラウンドの再整備計画に伴い、老朽化した文化財施設を八幡山公園の一角に移転させ、隣接する南下古墳公園と一体的な施設活用を推進する。これにより、町内の豊富な文化財を有効活用する交流エリアを形成し、「よしおか再発見プロジェクト」と連動させながら地域資源を磨き上げ、本町の特色である古墳や養蚕などの歴史文化に関する情報発信や各種交流事業を通じて、域外からの新たな人の流れを呼び込み、交流人口や町内周遊・滞在の拡大を目指すものである。併せて、本町は移住者が多いことから、改めて住民に地域資源を認識してもらうことにより郷土愛の醸成を図り、定住を促進する。	
事業経費	事業費総額：57,304,800円 (事業費内訳) ・工事請負費 51,516,000円 ・設計委託料 5,788,800円	
平成29年度 取組内容		取組結果
【文化財施設移転整備】		・老朽化した既存の文化財施設を今後拡張予定の八幡山公園の一角に移転整備した。

○企業版ふるさと納税事業に係る検証シート

重要業績評価指標	基準値	平成29年度末 目標値	平成29年度末 実績値	平成30年度末 目標値	平成31年度末 目標値
文化財施設利用者 数（人）		—	—	1,000	1,500
観光入込客数 （人）		—	480,400	620,000	625,000
K P I 未達成 の理由	平成29年度については、既存の文化財施設の移転整備を行うものであるため、K P I の目標値を設定していない。				
事業の課題 /今後の取組	文化財センターの利用者の増加を図るため、土器の拓本体験コーナーを設置するほか、小中学校の夏休みを利用した「勾玉作り」講座等を実施する予定である。また、吉岡町の文化財の魅力を広く発信するため、ホームページ開設の検討を行う。				
事業の評価	地方創生に有効であったが、事業期間が短く、効果を把握できないため、経過観察				
外部有識者による 意見・記述欄	<p>6,000万円規模の事業であることを考えると、利用者数等の目標値が適切とは思えにくいため、必要があれば見直し及び必修正をするようにされたい。</p> <p>今後については、学校教育室等と連携しながら様々な体験型事業などを企画し、児童・生徒が利用しやすい施設にしていただきたい。</p> <p>また、施設でイベントや企画を行う際には、広報やホームページを使って事業の詳細などを周知し、町民はもちろん、観光客にも興味を持っていただくよう、積極的な取り組みをされたい。</p>				